

緑ヶ丘だより

発行 令和4年7月
座間市緑ヶ丘地区自治会連合会

自治会におけるデジタル化 199世帯
緑ヶ丘南自治会会長 湯浅一弘

自治会って必要なの？ 232世帯
緑ヶ丘中央自治会会長 百瀬智一

世の中では、行政や一般企業におけるデジタル化やDX（デジタルトランスフォーメーション）が叫ばれています。問題は、行政への様々な申請が手書きだったり、パソコンで作成されていたとしても紙ベースで処理されたり、処理したデータがシステムをまたがって共有されていないかったりということにあります。

一方で、自治会の運営について振り返ってみると、弊自治会ではホームページの開設やデータベース活用によるマニュアル化、子ども会連絡のLINE（オープンチャット）化、ホームページ上での電子回覧のスタートなどを行ってきたものの、旧態依然とした仕組みややり方が多く残っているのも事実です。

自治会の先進事例では、LINEの活用や、スマホアプリでの安否確認、会費の電子決済活用などが報告されています。将来に向けて、あるいは若い世帯の方々に向けてもデジタル化は避けて通ることができません。

スマホの使い方がわからない、LINEでの予約なんてできない、QRコードって何？などという意見もよく耳にします。会員の高齢化に伴い、一気に自治会のデジタル化を進めることには難しい面がありますが、使い方ややり方がわからない人たちに、自治会が手助けや簡単な講習会を行うことでフォローすることも必要なことです。先進事例を参考にしながら、組長や役員の負担軽減につながり、また会員の皆さんの簡便さ、利便性につながるようなデジタル化を検討し、少しずつ進めていく必要があると考えています。



会長3期目となり初めて市自連の組織部会に参加して来ました。他地区の先輩方ともお話しでき、自治会ごとに抱えている問題、活動内容の違いなども感じましたが、それでも共通の悩みは加入率の減少。理想像はあっても皆が会員になっていなければ必要な活動もできません。

緑ヶ丘中央自治会では活動にご理解いただいている世帯も多く何とか続けられています。それでも年々高齢を理由に退会を希望される方が後を絶ちません。高齢の方や日常生活が不便な方には役職免除とし、会費の減額等も提案したくても、それでは一般の方に申し訳ないのでやはり退会したいと負の連鎖で、有効な改善策が立てられていない状況です。

座間市にとって自治会は必要な組織なのかという話題が出ました。加入は任意なので、自治会員と他の市民を区別はできないとの論理のままでは加入率は年々下がって行く。自治会の負担を軽減するための施策は感じられるが、加入させるためには何をしてくれているのかと。

住環境の維持改善、防犯、美化は自治会の事業だと思いますが、イベントは諸刃の剣で地域の交流を支えている一方で自治会役員の負担を大きくしている点、市や関連団体とともに開催方法を整理していけないものか。そして防災対策、災害時対応。災害時に市から受けられる行政サービスは全市民同じでなければなりません。自治会員は自治会が窓口となり対応し、非自治会員は直接市の窓口での対応とし、受付時に安心感を与えるだけでもメリットとなるのでは。また市自連は今年度中に自治会員限定クーポン券の発行する計画です。市の商店会だけでなく座間市が協力、支援してくれなければ成し得ない事業だと思われませんが、市からの発信で自治会の存在を改めて知らしめることにも大きな意義があると期待しています。湯浅会長のお力でぜひ実現していただきたい。

例年通りの自治会から少しでも前に動き出していけるよう、私も微力ながら努めていきたいと思います。



令和4年度役員・会員数

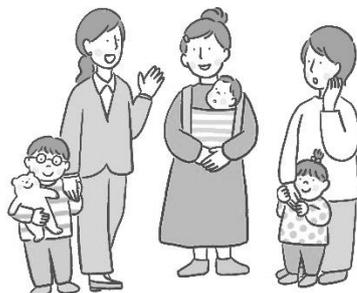
役職名	氏名	所属自治会	会員数
会長	湯浅 一弘	緑ヶ丘南	199
副会長	川辺裕敏	新緑ヶ丘	130
書記	小川 一起	小田急相武台南	112
会計	百瀬 智一	緑ヶ丘中央	232
会計監査	藤塚 捨雄	第一住宅相武台団地	166
幹事(防災)	高宮 英男	わかば	22
幹事(防犯)	藤村 武彦	さつき	169
幹事(広報)	大塚 幸伸	緑ヶ丘六丁目	154
代表理事	湯浅 一弘	緑ヶ丘南	
専任理事	百瀬 智一	緑ヶ丘中央	
		合計	1,184

2年前、座間市に引っ越しをしてきた時に自治会には加入していたのですが、コロナ禍というもあり、ほとんど活動はなかったのので、自治会についてはほとんど知りませんでした。

この度、自治会長を引き受けることになり最初は不安でしたが、前会長の方や、他の役員の方達のサポートもあり日々勉強しながら取り組むことができています。また、自治会に携わることは自分の住んでいる地域のことや防災・防犯について知ることができる、良い機会だと思います。

このようなご時世ですので、イベント等の開催がまだ厳しい状況が続いております。例年行っていた、初夏の美化デーも今年も中止になり、除草作業は市へ依頼しました。市民レクリエーションも小田急相武台南自治会は不参加とし、地域のコミュニケーションの場がないことは残念ですが、行事にかかる時間が少なくなった分、現在の問題点である、ゴミ集積所のカラスの問題について取り組んで参りたいと思います。地域の皆様にもご協力していただき、問題解決できれば良いと思います。カラスに荒らされていた時も、地域の方がご厚意で掃除していただいているのを聞いた時には、素晴らしい方達がいる地域に住むことができ嬉しく思いました。この場をお借りして感謝申し上げます。ありがとうございました。

このようにサポートもあり、ご迷惑をお掛けすることがあるかもしれませんが、皆様のご協力を賜り1年間務めたいと存じます。どうぞよろしくお願いいたします。



“自治会”…これまで色々なところに居住し、そしてそこに必ず存在した自治会。生活に密着し身近な存在であったはずの自治会。それが仕事（若干のアソビも含まれた？）の忙しさを理由に全くの無関心、ノータッチ。すべてかみさん任せであった。

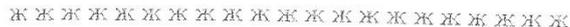
ところが80歳を目前にした今、何と！この自分が自治会長の職を仰せつかるとは。今回この「緑ヶ丘だより」に寄稿するにあたり、新会長としての抱負を格調高く記そうと、おもむろにペンを取ったが、動かない！ペンは止まったまま…。

それはそのはず、自治会の何たるかがまるで解っていないためこれは至極当然のことでした。ただ自治会員の高高齢化、家族構成の激変、価値観の多様化等、自治会の運営、活動にあたり難しい要因が山積していることは容易に想像がつきます。

しかしこれらはみな自分のコントロール外のことであり深く考え過ぎるのは時間の無駄というもの。自分は自分なりに精一杯「未知との遭遇」を楽しんでやろうと思っております。

まだ原稿字数には余裕がありますが、駄文を綴りながらフト頭に浮かんだ唐の詩人、白居易の人生哲学ともいえる七言絶句で結びとします。

《蝸牛角上争何事 石火光中寄此身
随富随貧且歡樂 不開口笑是癡人》

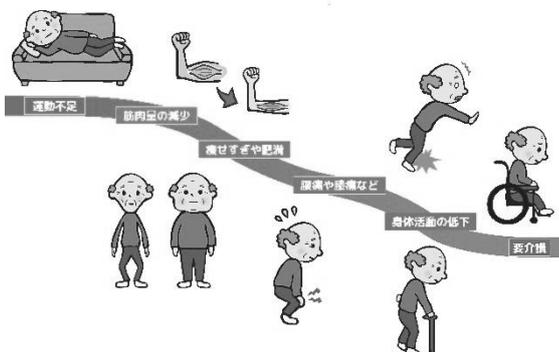


参考：知らず知らずに体が弱っていませんか？
高齢期の虚弱：フレイルに注意しましょう！
・フレイルの原因となる筋肉減少症＝サルコペニア
・予防・改善の方法は？

楽しみをつくって、毎日活動的に過ごすことが大切
まずはサルコペニアの予防から！

日々の生活の中に運動を取り入れ、筋肉を発達させて行きましょう。

- 運動：筋肉に刺激を与える歩き方
歩くときは：歩幅を大きく、ゆっくりと
階段の上がり下りは：つま先で着地して、ゆっくりと
- 食事：10の食品群を毎日食べる
特にたんぱく質や油脂類はしっかりとりましょう



自治会について思うこと 166世帯

第一住宅自治会会長 藤塚 捨雄

「緑ヶ丘だより」の原稿、我が第一住宅自治会では、会長より会員が書く方がベターということで、この3回は会員の方に書いていただいている。今回もと思い、3名ほどの会員に依頼したところ、2年に1回ぐらいは会長が……とのことでシブシブ筆を執っている次第。

自治会についてはやれ加入率が低い、存在感がないなどと姦しい。会長の仕事が大変なので手が出て困っているとか危機感に満ちた論議が交わされているようだ。

確かに会長に課せられた雑用は多い。その大部分は行政の下請け的な業務の増大によるような気がしてならない。加えて自治会の組織が肥大化してしまい各自治会が連合会の下部機関化している印象が否めない。その結果が雑件や申請書など書類の増加、規程・制度化による煩雑感の高まりなどいたずらに会長の負担感を重いものにしてきているようである。

ザックバランに言って、会長の仕事なんてそんな面倒なものではない。誰にでもできる事である。ところが、それを上に述べたようなことによって煩雑な仕事と受け取られてしまっている。会長就任を拒否する人が多くなればなるほど、相乗作用で「会長職は大変だ」が風説化して悪循環がスパイラルしているように思えるのだ。

自治会を難しく考えずもっと単純化して、昔の「向こう三軒両隣」としてとらえること、いたずらに付加されている市の下請け機能を返上することに目を向けてはどうだろうか。

高度成長、中央集権化、一致団結日の丸弁当の時代は終わったのである。分権化、多様化をどう進めるかが求められているのである。自治会も例外でない。

自治会はますます重要度を増すものと確信しているが、その内容をどう時代に合ったものとするか、私たち自身への課題であろう。

~~~~~

座間市小中学校の夏休み：交通事故に注意

7月21(木)～8月28(日)



## 自治会長になって

130世帯

新緑ヶ丘自治会長 川邊裕敏

令和4年度会長になりました川辺です。昨年まで副会長をしていました。新緑ヶ丘自治会は会長職を数年続けて行うのが通例の自治会で、「前会長」田野口さんも6年間会長として活躍されました。自分ほどのくらいやればよいのだろうか、まず思っていました。(すみません。不謹慎なことを最初に申し上げました)

昨年までは、会議も含め参加していればという気持ちが少しあったことは否めません。しかしながら、いざ会長になるとそうしてばかりではられません。まず「総会での会長の抱負はどうしよう」とか、「会員の皆さんにこれまで通り協力していただけるだろうか？」などの心配が膨らんできました。役員を引き受ける時、不安はありましたが、それ以上に会長を引き受ける時はさらに大きな不安や心配が起こってきました。

コロナ禍で、行事が延期・縮小さらには中止になって、思うような活動がここ2年間でできませんでした。ようやく今年度少しは改善が見られ、行事も行えるかと思えるところもあります。役員さんからの提案を受け、自治会の皆さんと力を合わせていけば以前実施できた活動や行事は例年のようにできると信じています。

初めて役員を引き受けた時は「無理なく楽しく」を掲げていましたが、今年はさらに「できる人が、できるときに、できる範囲でやればよい」という思いもあわせ持ち、活動を始めました。やっと2か月が過ぎ、この間に何ができたろうかと振り返ると、全体を考えて活動することとは程遠く、各種会議への参加・役員会のレジメづくり・回覧物の資料配布・自治会館の整理整頓等最低限の活動しかできていないのが現状です。

今後、行事等が再開されるようになったら、ますます役員さんや自治会の皆さんと協力して、活動を行っていききたいと思います。よろしくお願い致します。

~~~~~

緑ヶ丘だよりは市自連のHPに載っています。

「座間市市自連」を検索

座間市自治会総連合会をクリック

お知らせの上の：自治会の活動：をクリック

・自治会活動の紹介

地区自連マップの下

地区自連名 緑ヶ丘地区をクリック

地区自連活動情報に緑ヶ丘だよりあります。

